

「日本経済再生に向けた緊急経済対策」進捗管理シート(経済産業省)

対策の柱立て(大区分)	II. 成長による富の創出	担当部局	製造産業局
対策の柱立て(中区分)	1. 民間投資の喚起による成長力強化		
対策の柱立て(小区分①)	(2) 研究開発、イノベーション推進	担当課	生物化学産業課
対策の柱立て(小区分②)	②医療関連イノベーションの促進		
対策における施策の名称	iPS細胞等を用いた再生医療研究加速のための施設・設備等、iPS細胞等自動培養装置開発加速事業		
(事業名)	iPS細胞等培養装置開発加速事業	新規/既存	■新規 □既存
平成24年度補正予算額	5.76億円	一般会計/特別会計 (特会の場合には名称も記載)	一般会計
事業の内容 (予算については、 予算の使途及び 予算を交付等する対象者 を明記)	iPS細胞等を用いた再生医療及び新薬候補のスクリーニングの実用化を加速するため、iPS細胞等の自動培養装置等について、研究機関等に委託して行い、研究機関や企業等のニーズに合致した装置等の開発を支援する。受託者は装置等の評価のため、研究員等の雇用、自動培養装置用の培地等の消耗品の購入等を行う。また、自動培養装置の普及促進に寄与するため、評価結果は公表する予定。		
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> 交付金 <input type="checkbox"/> 貸付金 <input type="checkbox"/> その他()		
アウトプット指標(進捗指標)	(アウトプット指標による目標) ○25年3月時点で契約額が予算総額の100%(9件) ○25年6月時点で本事業により直接発生する総需要金額を2.5億円とする。 ○9拠点において、12装置(比較対象となる装置を含む)の評価を行う。 ○受託先の研究機関等において、開発中の自動培養装置に関する技術的課題を抽出し、必要なもの全てについて開発に反映させる。		
アウトカム指標(効果指標)	(アウトカム指標による目標) ○2030年に約120億円の自動培養装置の国内市場規模の実現を目指すとともに、当該市場における国産装置のシェアを100%とする。 →指標:事業成果の有識者委員会での評価 (目標:100%(全て)の事業成果について、国産装置開発の加速に貢献したと評価される)		
事業の進捗状況 予算の執行状況 (進捗実績、 今後のスケジュール)	平成25年2月 8日 公募開始 平成25年2月18日 公募説明会 平成25年3月11日 公募締切 平成25年3月21日 第三者委員会による採択者決定 平成25年3月29日 契約締結 平成25年5月 各研究機関において、マニュアルによるバック培養のデータ取りを開始 <div style="text-align: center;"> 【進捗ステップのイメージ図】 <pre> graph TD A[国] -- "委託(3月29日)" --> B[大学及び研究機関] </pre> </div>		
執行早期化のために 講じている工夫	培養プロトコル等について、国が京都大学iPS細胞研究所(CiRA)と調整を行うことにより、受託者が個別に調整する期間の短縮を図る。また、装置開発メーカーが採用している培養方法を、研究機関等が契約前に確認できるようにすることで、その技術習得に関する時間を短縮する。		
事業に関するURL (事業実施場所、補助先等)	経済産業省ホームページ http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/saitaku/s130327004.html		